

仙台市宮城野区まちづくり助成事業

「平日フェス」設立主意書

平日フェスは、東日本大震災により進められてきた自発的な市民活動を通じ、必要と感じた内容を盛り込んだ取り組みです。



・支援者の支援 ・母子応援 ・多岐にわたる人脈の繋がりのおかげ その3点を指針におき、「平日フェス」という企画を小規模に2014年7月7日に開催。翌27年7月20日開催の「平日夕涼みフェス」は、宮城野区周辺在住の方を中心に延べ人数1000人の参加がありました。その輪が広がり今回も宮城野区高砂にて自治体参加の大規模な企画に発展しております。※平日フェスという名前は、日常生活応援の企画という意味も込めてつけられました。

主な活動内容

- ＊平日フェス実行委員会は、実行委員長が立ち上げた「iーくさのねプロジェクト」(<http://www.kusaprp.com/>)の活動の延長線上にあり、フェス運営のために委員会を立ち上げております。よって主な活動内容は連動しております。ご不明点等いつでもお問い合わせください
- ・児童館や市民センターにて、パン作りやマッサージ、コンサートを通じて子育て中のママさんやシニア世代の方との交流を続けて参りました。(フェス開催後ご依頼を受けさらに活動の場が広がっています。)
- ・被災された方の作られる作品遠方へ紹介し、販売紹介の橋渡しを行なっております。(遠方の方とのやり取りは顔が見えず、製作者の方々へは負担となるため)
- ・宮城野区の民生児童委員が企画する地域応援の会の裏方サポート(物資・支援金・人的)
- ・遠方からの物資を必用な所へお届けしました(ホームベーカリー・じゃがいも・雑巾・靴下・コーヒー・お菓子・クリスマスプレゼント など)
- ・宮城野区まちづくり推進事業「未来に伝えたい中野・岡田の会」のメンバーとして、冊子作りを通じ地域の取り組みに参加させていただいております。
- ・お子様を亡くされた方の自助サポートをする東北ビフレンダーとして影ながら活動を行なっております。(NPO法人SIDS 家族の会) 流産、死産を経験された方を含みます。

<資金調達について>

- ・本年度は協賛、スポンサーを広く募集し、プログラムへの紹介枠の設置やweb発信等を通じ、協賛をお願いするだけでなく地域で頑張っているお店や団体を知って貰う取り組みも強化します。
- ・昨年、当日にカンパを募りましたが、集まりが悪く無料開催企画の予算を捻出する為缶バッジやタオルなどオリジナルグッズを制作し販売を試みます。
- ・砂子自身が講演会、原稿執筆の依頼をいただくことがあり、その依頼料等も活用します。手技を活かしたワークショップやブース出展により集まった資金も活用します。

賛同金 個人/一口1000円 団体/一口3000円

ご賛同頂いた方はブログで紹介すると共に当日パンフレットにご芳名を記載いたします(匿名も可)

さらに団体賛同者様には「名刺サイズの紹介枠」印字の利用できます。（詳細は追って連絡いたします）
10口以上の特別ご協賛者にはチラシ等に「ロゴ」または「ご芳名」を掲載させていただき（3万部）
当日パンフレットへのA5サイズの枠をご提供させていただきます。（1000部）

□お振込先 郵便振替口座 02200-1-138078 口座名 「平日フェス実行委員会」

事業の目的及び期待される効果

昨年度宮城野区高砂市民センターで開催された平日フェスには、多くの方の協力により延べ人数1000人を超す盛況な会となりました。

自治体をはじめとする地域団体と、行政、県内から文化的な活動で被災地交流活動を続けているアーティストの方々、市民が一体となつてつくりあげるこの活動はその後の広がりが大きく、付加価値の多い意義ある取組となっています。

昨年の開催を通じて地域の状況をみますと、自治体の組織運営者はシニア世代の方が多く、次世代の担い手不足を感じました。

地域の行事や交流事業には町内会長、民生委員、市民センター職員の方々の負担が大変大きくその状況を変えられるような取り組みの一助になるよう、今年度の企画を組み立てております。昨年の経験を踏まえ、平日フェス開催をきっかけに 多世代による地域の繋がりをさらに広めます。

④主な活動内容に記載した5年間の活動を通じて 必要と感じた取り組みを集約した企画が「平日フェス」です。参加者からの声を聞き、需要と開催意義をさらに感じております。今年も多ジャンル多世代の方々のつながりが開催後もさらに広がり、地域の連携と活性に繋がっていくことと思っております。

対費用効果が高い（参加人数2000人とすると一人当たり500円 通常、この規模のフェスは5000円以上の参加費が必要となります。地域の方々のボランティア参加、実行委員のボランティア運営、出演者のご厚意の賜物により低コストの運営費となっています。）

<活動の目的>

母子応援・被災地応援・支援者応援事業・若い世代の地域活動参加のきっかけ作り・出逢いつながりの場

目的 2015年にご好評頂きました「平日夕涼みフェス」を、本年は「平日フェス」として2016年7月18日（月祝）に開催いたします。

今年は午前10時からの開催となり、昼を挟むため、飲食ブースの増加や休憩の配慮、熱さ対策等を強化していきます。

若い世代がフェスへ参加し、その後の地元行事に参加、さらに運営を担うきっかけとなるよう楽しい雰囲気や出逢いの予感を感じさせるような企画作りを進めています。（婚活等）

<バルーン係留交流事業>

震災当初から支援を継続してくださっている 九州佐賀県の団体より
佐賀の熱気球係留の開催が決まりました。

場所 高砂中学校 朝6時～7時半

7月17日(地元招待枠)50名 7月18日 一般募集 両日50名限定

東日本大震災から5年目となりますが、支援を続ける遠方者との交流と
未体験の楽しみを皆さんにご提供させていただきます。

平日フェス参加対象

老若男女 (特に子育て真っ最中のご家庭・活動仕事等に邁進されている方・若手)

・企画開催を通じて、主に仙台市で活動する 個人 団体 企業 アーティスト等が繋がり 開催後、新しい取り組みや交流が生まれます。

・被災地で活動している団体のブースを設け 販売品等も紹介 販路を広げる。

・企画開催を通じて 復興活動や地域のために活動してきた方々へのお礼とお疲れ様の会を計画する

・仙台を拠点に活動するアーティスト、モデルによるライブ、ショー(地域応援協力)

・ワークショップを通じての母子応援、被災地応援

・作品の紹介および多団体・個人の活動紹介の場としてブースをつくり交流を広げます。

世代や地域、活動のカテゴリを越えた方々のご参加とご協力を頂けましたら幸いです。

事業の概要

日時・場所 平成28年7月18日(祝日)

開催時間 10時00分～15時30分(開場9:30 閉館18時予定)

プレイベント 佐賀県より熱気球係留体験招待・見学(お子様優先50名 見学自由)6時～8時

会場場所 高砂中学校

フェス内容

Opening ライブ 佐藤翼(のらりくらり)

Opening プチシネマ演奏 演出:岡部まこと(宮城野区在住)

岡田合唱団

《ゲスト出演者》

◇齋藤寛さん ブラジル音楽ユニット「Choro em po」として6名でのご参加
(jerryさんとして「MONKEY MAJIK」のサポートパーカッションも務める)

鶴巻小学校などでワークショップも行う

*本年度は平日フェスがきっかけとなり同会場にて

全11回にわたる打楽器演奏のプロジェクトを行います。(D-project)

◇渡辺祥子さん 言の葉アーティスト・フリーアナウンサー

「言葉のちから」

宮城野区の仮設住宅をはじめ地域の方へ靴下やタオルを i-くさのねプロジェクトを通じてお渡ししたことがご縁で 今回のご出演となりました

◇伊東洋平さん

仙台在住ソロアーティスト

(元イケメン'ズ)

岡田児童館、鶴巻児童館、鶴巻小学校など、大小多数の応援ライブを通じて交流してきました。ソロになってからも 変わらず 継続した活動協力をしてくださっています。

《特別企画》

モデルの杉本りかさん監修 (モラドカンパニー)

「summer vacation collection」 <http://morado.jp/>

オリンピックイヤーにかけてショーを開催。

ウォーキングレッスン、写真写りレクチャー、ナチュラルプチメイク、ヘアアレンジアドバイスなども盛り込み、 参加された方々への情報発信、交流を行います。

《ステージ演出》

藤原茜 若手木工、家具作家

《エンディング》 (全員参加)

《お楽しみ抽選会》

《ブース》

、ヘア・メイクプチレクチャー、気仙沼、宮城野区などからの被災地応援作品紹介やフェアトレード作品、オーガニック作品、石けん、ワークショップ等

《ドリンク・カフェコーナー》募集中です

コッペ・福祉施設のおにぎりなど キリンビールよりジュース販売の大きな容器を借りれたらお借りしたい。

《information コーナー》

地域の行事や各種催しのチラシ等を紹介するコーナー

(各種お知らせチラシなどございましたらご活用ください)

《他》

・出演者及びスタッフの皆様へ、調理室にて「郷土料理研究会」に依頼しあいコープの美味しい食材でつくる軽食のご提供する予定です 手作り無添加パン (i-くさのねプロジェクト提供)

・交通整備の方を依頼。駐車場を近くの敷地をおかりして臨時駐車場とします。

主催・共催 主催：平日フェス実行委員会

共催：いちごの会/高砂第一、二、三区民生委員会/i-くさのねプロジェクト

/高砂市民センター

協力：岡田合唱団/コール高砂/元気ZZ/MORADO COMPANY/ともしびプロジェクト/富士夢祭り/ハッピーストック/(有)アルソアエスプリ/生活協同組合あいコープみやぎ/㈱建築工房零/伊東洋平事務局//npo
法人日本ヨガ連盟/㈱トラストエージェント/東北の新月 他、募集中
スポンサー：幸かおる税理士事務所 (募集中)

《ご協力者・賛同者募集》(別紙要項参照)

平日フェス！を応援してくださる個人および団体・企業等を、広く募集いたします。ご協力・ご賛同の程 何卒宜しくお願いいたします。

《賛同特典》

◇お名前及び団体・企業名を当日のプログラムおよび平日フェス Facebook ページへ掲載いたします(匿名可)

◇当日の様子をまとめた「平日フェス！新聞」を発行し、オリジナル「child like world」ポストカードと共に発送いたします。(発送には開催後1、2ヶ月程度かかる見込みです)

◇当日の折り込みチラシ(1週間前までに郵送またはお持ち込み)及び information コーナーをご利用いただけます。どうぞご活用ください。

活動の実施スケジュール

【平日フェス2016】

テーマ 「恋・あこがれ」(裏テーマ婚活)

～出会う つながる～ 「平日フェス！2016」

日時2016年7月18日(月祝)10時～15時半 (予定)

◇10時～

第一部 オープニング

「のらりくらり」20分

(休 15分)

「おのきん まこっさんの

おのきんを探せ！」 20分～25分

(休10分)

「岡田合唱団」、K I - Y O コラボステージ 15分

おもいをこめて、他

(休5分)

「杉本りかさんの プチウォーキングレッスン」10分

2階へ ショー準備の様子を観に行こう！ と呼びかける
ヘア、メイク ウォーキングワークショップ(体験)

お昼休み 11時半～12時半（短縮もあり）

（ワークショップ・ブースへ誘導）

休憩（2部セッティング リハーサル）

◇第二部オープニング

12時30～

「夏のファッションショー」

（2階から降りてくる）20分

杉本りか監修 モラドカンパニー スタイリストユニオン、アルソア、他

開会（セレモニー まこっさんオープニング新作映像）

挨拶（館長）

13:00～13:40

渡辺祥子さん 「言の葉メッセージ つながるちから」

朗読（25分）

13:55～14:25

伊東洋平さんライブ 40分

14:35～15:05

齋藤寛さん ショーロンポー、打楽器ワークショップ

エンディング

全員参加型 ダンスフィナーレ

（仕切り）すんぷちょ+ 実行委員会

モデルもアーティストもブースの方も

運営も参加者もみんな一緒に参加する 夏の初まりのフィナーレ

お楽しみ抽選会

閉会挨拶 加藤信一さん

15:30 集合写真

ホール内で乾杯！（飲み物等かんたんを用意しておく）

解散 片づけをしてくださる方には残ってもらう。

事業のアピールポイント

対費用効果が高い（本年見込みの参加人数 2000 人とする一人当たり約 500 円。通常この規模のフェスは 5000 円以上の入場料が必要となります。地域の方々のボランティア参加、実行委員のボランティア運営、出演者のご厚意の賜物により低コストの運営費となっています。）

昨年の開催を通じて地域の状況をみますと、自治体の組織運営者はシニア世代の方が多く、次世代の担い手不足を感じました。

地域の行事や交流事業には町内会長、民生委員、市民センター職員の方々の負担が大変大きくその状況を変えられるような取り組みの一助になるよう、若い方に参加してもらえよう今年度の企画を組み立てております。

平日フェス開催をきっかけに 多世代による地域の繋がりをさらに広めます。企画発案者は、震災によりゼロから市民活動を始めた 一市民 、素人です。

開催までの活動を通じて、一人一人の持つ能力を最大限に発揮し、発表する場ともなりました。市民一人一人が生き生きと、地域を活性させながら暮らしを続けていくことの充足感、意義を大きく感じます。

規定概念のないこの取り組みに 是非ご注目いただき、皆様のご指導、ご協力等頂けましたら幸いです。

・プロの演出を鑑賞する だけでなく、自分たちも運営や発信者として参加し、平場で交流することにより 新たなつながりが生まれ 暮らしや地域の活性化を図ります。

・若い人たちの応援や活動紹介をする。 地域の始めて会う人同士の橋渡しの場となれば。自治体、地域の取り組みに若い世代が参加するきっかけとなる。

・小さなお子様を持つ子育て世代の応援（特に未修園児を持つ家庭のサポートは必須です）

・企画に参加することにより 「できない」 と思っていたことができるようになる。

「やりたい」「必要」 と思うことを実現するきっかけとなります。

・(大きなビジョンで大変恐縮ですが、、、)

現代は震災に加え様々な困難や不安も沢山ある世の中です

一人一人が培った情報や技術、人脈を共有し広く繋がり、

老若男女に対してのよりよい地域作り 、暮らしのあり方を考えていく

その小さなきっかけの一つとなることがあれば幸い。と考えながら活動を行っています。

□各種お問い合わせ先

平日フェス実行委員会

メール heijitsu.fes@gmail.com

Facebook <https://www.facebook.com/heijitsufes/>

委員長 砂子啓子

(i-くさのねプロジェクト代表 <http://www.kusapro.com/>)

電話 08027730181